



# Boys, be

FootBall LIFE

本誌創刊号で紹介したブラジルの天才少年、ネイマール君の契約がついに決定した。代理人と家族、14歳以下のアマチュア選手はサッカー協会登録が出来ないという法律、国内・海外ビッグクラブの思惑など、様々な問題が複雑に絡んだ今回の契約。サッカーとともに生きることを選んだブラジルの天才少年とその家族の物語の続編をレポートする。



天才少年ネイマール君が  
ついにサントスFCと契約！

# Ambitious!

文●大野美夏  
Text by Mika Ohno  
写真●マウリッショ・ソウザ  
Photo by Mauricio Souza

## 紆余曲折を経て、結局サントス入団 ネイマール君と家族も満足な様子

海外に旅立つか、サントスFCに残るか。  
契約問題について、本誌創刊号で紹介したとき、ネイマール君の家族は“神のご加護”に任せると言っていたが、結局、紆余曲折を経てサントスに残って契約することを選択した。とはいえ、簡単にこの話に決着がついたわけではなかった。

このネイマール君の契約は、彼の才能だけの問題ではなく、14歳の少年の将来に大

人がどう関与するかという、子供の権利、代理人の思惑、クラブの思惑など、様々な要素が絡み合ったものだった。

移籍問題のキーマンは、ロビーニョの代理人も務め、レアル・マドリーへの巨額移籍をまとめたことで知られる、凄腕のヴァギネール・リベイロだ。彼は、早くからネイマール君に注目し、経済的サポートをしてきた。ネイマール君の家族も、彼にマネージメントを委任していた。

代理人とは移籍を成功させることによって

収入を得る職業だ。そのためヴァギネールは、2005年12月26日の「ロビーニョ・フレンズ対ロベルト・カルロス・フレンズ」の豪華親善試合に当時わずか13歳のネイマール君を出場させ、メディアとクラブの注目を集めることに成功。各クラブの反応は上々で、スペインのヴァレncia、州内のコリンチャンス、サンパウロFCなどが入団先候補に挙がっていた。当初は、ヴァギネールの思惑通りに進んでいたのだ。

FootBall LIFE

FootBall LIFE